

授業研究会（ワークショップ形式）

1 日程 12:45~14:25（100分）

	12:45 ~	12:50~	13:00 ~	13:10~	13:45~	14:05 ~ 14:25
時間	5分	10分	10分	35分	20分	20分
内容	研究部による協議の行い方の説明（3分） 指導助言者紹介（2分）	・ 井上 先生 ・ 松元 先生 （質問に関する回答も） 保健5分、体育5分 福松 先生	質疑応答	柱1 学習資料の意図的・計画的な活用について ・ 「できる」を意識した授業展開について	柱2 ボール運動の学習を通して考える「できる」体育授業の在り方 全体協議	指導助言 10分×2名 ・ 宮内 孝 先生 ・ 原田 誠 先生
授業者 助言者	着席	着席	着席	周回	着席	着席

2 授業参観の視点

- ・ 学習資料の意図的・計画的な活用について
- ・ 「できる」を意識した授業展開について

3 体育館横掲示の拡大指導案

- ① 下記を参考に記入する。（受付に付箋を置いておき、必要な数だけとる。）

質問したい
疑問に思った
(黄)

良かった
成果
(青)

課題
協議したい
(赤)

- ② 黄色の付箋は体育館の拡大指導案に貼り付ける。（横 体育、入り口 保健）

※ 授業者ふりかえりやこれからの研究で使う。

（授業者が質問される前に、研究部として答えをあらかじめ把握しておく。）

- ③ 自分のグループの画用紙に付箋を貼る。（体育館 掲示）

黄緑の画用紙・・・学習資料の意図的・計画的な活用について

白の画用紙・・・「できる」を意識した授業展開について

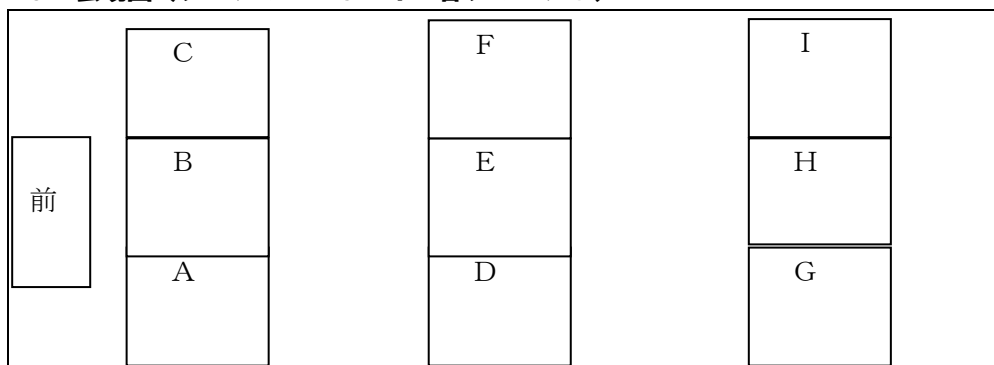
※ 授業研究会で活用できるように、授業研究会会場に移動させる。

※ 参加者が貼られていることを読んで気付く、学びにつなげる。

4 グループ協議の進め方

- ① グループごとに座り、簡単に自己紹介をする。(勤務校、名前、一言)
※ 司会は受付で知らせる。
- ② 視点の2つの項目についての成果(青)、課題(赤)意見(黄)を記入し、(事前に書いた付箋も含む)、2枚の4つ切り画用紙に付箋を貼りながら、意見を出し合っていく。話し合いながら、同じキーワード・カテゴリーで分ける。
- ③ グループ協議では、柱1の2つの項目について話し合う。
- ④ 質疑応答は、協議中に授業者・指導助言者がテーブルを周っている際にも行う。
- ⑤ 全体会では、グループ協議で話し合ったことをもとにして2つの視点に沿って「ボール運動の学習を通して考える「できる」体育授業の在り方」について話し合う。
(はじめにグループで出された意見を2～3グループ程度発表してもらう。)
- ⑥ 最後に指導助言をしていただく。

5 会場図(テーブル2×9 イス各グループ8)



- ・ 受付でグループを確認。大学生については係で割り振る。
- ・ 拡大指導案、資料等は体育館壁面に貼っておく。
- ・ 各テーブルにマジック3色

授業研究会 会次第

- 一、 指導助言者紹介
- 二、 協議方法説明
- 三、 授業者ふりかえり
 - ・ 井上 岳 先生
 - ・ 松元洋子 先生、福松加菜 先生
- 四、 質疑応答
- 五、 グループ協議・質疑応答
 - ・ 学習資料の意図的・計画的な活用について
 - ・ 「できる」を意識した授業展開について
- 六、 全体協議
ボール運動の学習を通して考える「できる」体育授業の在り方
- 七、 指導助言
 - ・ 宮内 孝 先生
 - ・ 原田 誠 先生

※ 受付で授業研究会(ワークショップ形式)の流れを配付する。